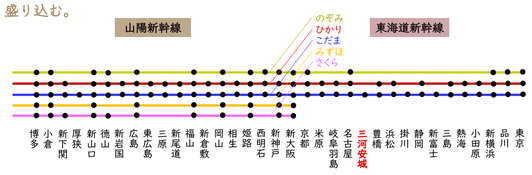
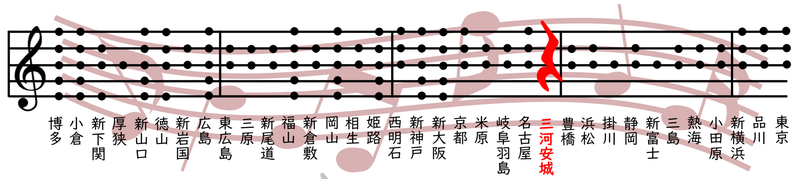
休符の駅？三河安城

新幹線の路線図を楽譜に見立てたとき、メロディを奏でているように見える。
停車する車両の少ない三河安城駅は、さながらサビ手前の休符、若しくは、サビ終わりの休符に見えなくもない。
休符には決して悪い意味はない。演奏者は休符で「息継ぎ」をし、メロディとメロディを「つなげる」。良いメロディには休符による「メリハリ」、「余韻」も必要である。
また、休符という言葉は「めでたいしるし」という意味も併せ持つ。
駅周辺に必要な要素である「にぎわい」に加えて、三河安城独自の「休符」要素を盛り込む。





めでたいをシェア！

三河の結婚式は一世一代の大イベントであり、大枚をはたいたものである。しかし、近年、冠婚葬祭が縮小化傾向にあり、この先の先細りが懸念される。また、ご近所同士にも関わらず、どこのお宅の娘さんが結婚し、誰が出産したのかもわからない状態になり、コミュニティ自体が非常に希薄化している。
ド派手な三河の結婚式は残すべき素敵な文化である。
忙しい現代社会において、祝い事の日ぐらいは一歩立ち止まって、**町を挙げて祝福**しようしようではないか。幸い、三河安城駅周辺には結婚式場が数件あり、**地域経済の発展とともに、何よりも人生の出発地となる**駅前広場の活用を期待できる。

七夕まつり

安城といえば、七夕まつり。長年の歴史を築いてきた。七夕の由来は織姫と彦星のロマンチックな物語。三河安城を**七夕まつりのサテライト会場**として活用し**つなぐ**こともできる。

三河安城駅前ににぎわいの余韻を

プロスポーツイベントが開催される野球場やスタジアムはその規模から立地がよくないため、せっかくの集客がその時、その場だけの利用にとどまることが多い。
新設される多目的交流拠点（アリーナ）は、駅近という好立地であるため、飲食店やキッチンカー等を駅前広場に誘致し、**余韻を楽しむことのできる場の創出として**「まんまと滞在させる」仕組みを創るべきである。

安城らしさ「日本デンマーク」

安城は農業先進国であったデンマークにちなんで、かつては「日本デンマーク」と呼ばれていたらしい。三河安城駅舎はこれにちなんで北欧風のイメージとなっている。広場、道路もデンマーク、ヨーロッパをモチーフとしたデザインに統一させることでおしゃれな町並みになる。おしゃれな町並みに惹かれてあつまった人々になぜ安城が日本デンマークなのかを知ってもらい、農業方面への波及効果をもたらしたい。**安城らしさでもある駅南側に広がる田園風景さえも、安城の美しい"農シャンビュー"として売りとなる。**
農業のイメージを変えて農業活性化を図りたい。 デンパークも、季節毎にイベントを開催し、頑張っているのでさらなる集客につなげたい。

一生に一度のお祝いごと。
市民みんなで幸せを共有し、祝福しようではないか！

休符のまち

～まもなく、三河安城に停まります～

きゅう-ふ【休符】
〔名〕
①（「休」はよろこび、幸いの意）めでたいしるし。
②楽譜の記号の一つ。楽曲中で音が休止してなくなる部分を示す記号。
【精選版日本国語大辞典】

安城は魅力ある文化にあふれている

三河安城の役割は、新幹線駅として安城市の魅力ある文化を連結させ、日本中にアピールする玄関口となるべきである。
さながらメロディとメロディの間をつなぐ休符の役割である。
安城の魅力を発信していくことが三河安城駅の使命である。

新幹線駅北口のデザイン

在来線からの玄関口。
三河安城のシンボルである駅舎、広場が一望できるよう視距の妨げは設置すべきではない。（階段はスペイン広場に見えなくもない？）

在来線の利用者は連絡通路を利用する。
連絡通路内は、ヨーロッパの町並みをイメージして整備。

駅への車による送迎は必須要素であるため、ロータリーに代わり送迎・待合用停留スペースを設ける。

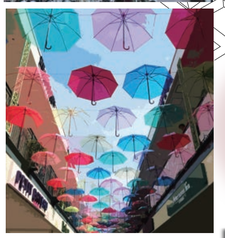
安全かつ円滑な人の流れを確保するため、「みんなで使える空間」及び「アリーナへの安全でスムーズな動線」を確保するためには、妨げとなる道路の横断は無い方が望ましい。
道路ネットワーク上または、既存建物の建築要件を確保して道路を再配置するべきである。
ロータリーは需要以上に空間を使用しているため廃止する。（つかう.meet.FESにおける交通規制においても混雑は見られなかった。）

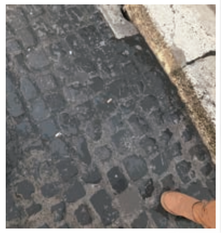
元ロータリー用地には自由度の高いオープンスペースを設け、交通規制をすることなく、「つかえる空間」を確保する。
道路をつくらないことでカーボンニュートラルに寄与。様々なつかい方をするために固定的な構造物は不要である。

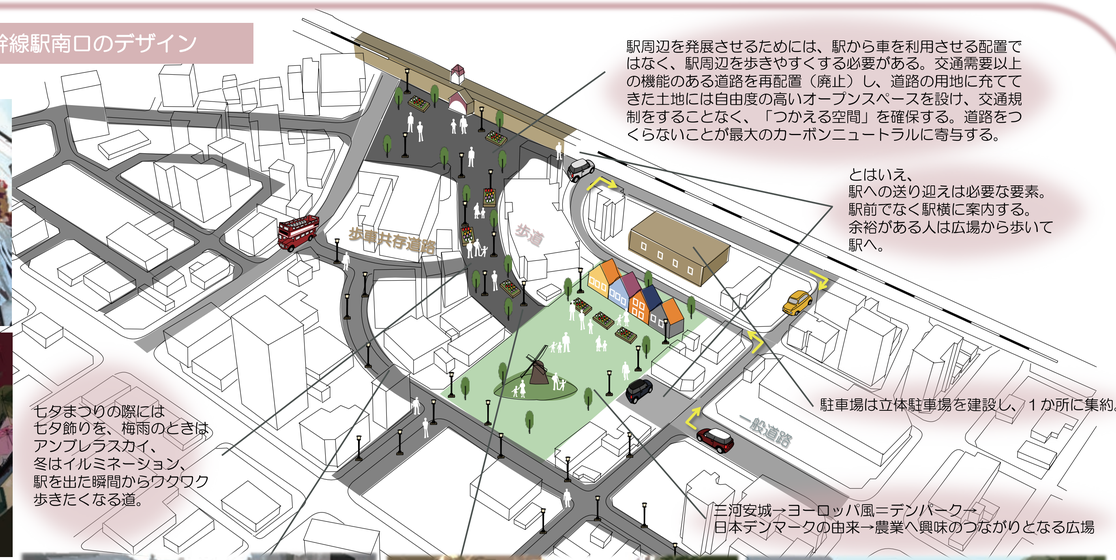
アリーナへの歩行者動線で横断は最低限の１箇所

自動車動線
歩行者動線

新幹線駅南口のデザイン







駅周辺を発展させるためには、駅から車を利用させる配置ではなく、駅周辺を歩きやすくする必要がある。交通需要以上の機能のある道路を再配置（廃止）し、道路の用地に充ててきた土地には自由度の高いオープンスペースを設け、交通規制をすることなく、「つかえる空間」を確保する。道路をつくらないことが最大のカーボンニュートラルに寄与する。

とはいえ、
駅への送り迎えは必要な要素。
駅前でなく駅横に案内する。
余裕がある人は広場から歩いて駅へ。

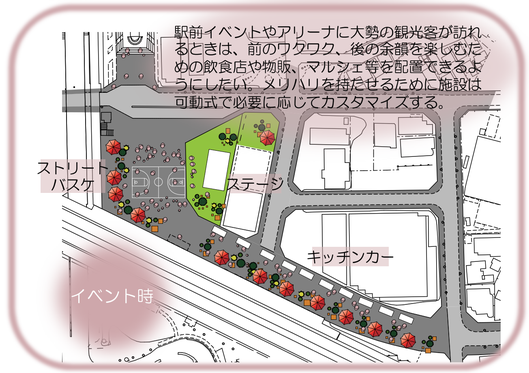
駐車場は立体駐車場を建設し、１か所に集約。

七夕まつりの際には
七夕飾りを、梅雨のときはアンブレラスカイ、
冬はイルミネーション、
駅を出た瞬間からワクワク歩きたくなる道。

三河安城→ヨーロッパ風＝デンパーク→日本デンマークの由来→農業へ興味のつながりとなる広場

ヨーロッパ調の暗めの色の石畳、ちょっと優雅に、フォトジェニックなおしゃれな道路を整備。
アジア、日本的な雑多な景色にはない落ち着いた雰囲気でのんびり散歩したくなる。建物の雰囲気がマッチするとなおよい。
統一感を持たせる必要があるため、地域一体となってまちをつくっていく必要がある。

（広場の使い方（例））人生の門出を市民みんなで祝福
三河安城駅を中心に、みんな幸せになれるといいね！



あったらいいな、こんなまちの使い方

場をつかうまでのステップ
"七夕まつりから始まる安城式結婚プロジェクト"

SHARE HAPPY!!

めでたい行事を家族で完結するのではなく、結婚、出産、成人式、銀婚式、金婚式などを市民みんなの祝い事として祝福する（SHARE HAPPY）。
１年以内に行事がある人々を各行事ごとに募集する。

七夕まつりをSHARE

「居心地がよく歩きたくなる」まちのデザインとして、安城七夕まつりの波及効果として考えたのは、歴史ある七夕まつりは従来の場所で開催し、駅前を**安城七夕まつりのサテライト会場を新設する**ことで、訪れやすさを向上させるとともに、サテライト会場から本会場にあるルートを形成できる。

ド派手な？三河の結婚式に着目した駅前広場の使い方

人生の「門出」を市民みんなで祝福し、めでたさを共有することによって、**安城市民の一体感を生み出す**。また、**周辺地域へのにぎわいの波及を目指した地域経済活性化、これからの安城を支える人口増加を期待し**、ＪＲ東海道新幹線三河安城駅前広場を使った「人生の門出を市民みんなで祝福！」イベントを毎年のように行う。

市民全体
- 七夕伝説にちなんだ織姫・彦星たちのお見合いイベント
  めでたくカップル成立したら歩いて本会場へデート！
- 異業種交流イベント（業種、企業を超えた交流）という名のお見合いイベント

↓めでたく結婚

- ブライダル写真前撮り＆青空結婚式（広場）
- ブライダル企業（ビジネス）・三河安城商店街組合飲食店が提携
- スポンサーは、安城市内の企業の社員に必ず該当者がいるため、福利厚生事業として協賛、シェアする（企業間を超えた一体感を生み出す。イベントはシェアした方が盛り上がる。）

個人
- 祝福イベントとは別に、個人的に予定されたブライダル写真前撮り、結婚式会場としての利用も可能にする。
- 遠くに住んでいる親戚の皆様は新幹線駅直結会場で安心。
- 北欧風の駅舎や駅前広場空間の映えスポットにおいてカップルが撮影
- 昔は金襴豪華な結婚式、新幹線駅から新婚さんをハネムーンに送り出したものだった。令和風に甦るか？

実現化方法

まちをつくるステップ（ハード）

道路整備を行う場合、用地取得が必要な場合は地権者の理解、協力が必要である。
ハード整備は一度行うと簡単に修正できないため、交通量調査はもとより、交通が変わった場合の実証実験を行い、無理のある道路整備にならないか検証を行う必要がある。道路の再配置はめったに行うことはないので**一度立ち止まって実験してみるべき**である。
（安城市の道路事業では実証実験の前例なし）
ヨーロッパの町並みのデザインについては、安城市の姉妹都市である**コリング市（デンマーク）との交流事業**のひとつとして協力を仰ぐ。

リサーチ ➡ 仮計画 ➡ 実証実験 ➡ 検証 本設計 ➡ 施工

まちをつかうステップ（ソフト）

「つかう.meet」を中心に各方面の得意分野をもちより意欲ある仲間を増やす。特に企画力に長けたブライダル関連企業には是非参入してほしい。
行政は事業の主体ではなく、調整役となり、安城市のもつ魅力を三河安城につなぐ。

リサーチ ➡ 企画 ➡ 実証実験 ➡ 評価 ➡ 再企画 ➡

自由度が高くなった広場をどう使うか。「やってみたいけどルールがわからない」と一歩踏み出さないのはもったいない。ルールは自分たちで作っていけばよい。また、意識高い系の人が企画した中に、**意識高くない系の人が関われることが重要**。つかう人が増え、みんなで地域経済の活性化を図る。**ブームが去っても文化が残り**、持続していくことが理想である。

三河安城に希望の「ひかり」の「のぞみ」あり